

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てんしのおうち Angel Kid's Academy (児童発達支援事業所)		
○保護者評価実施期間	R8年1月26日		~ R8年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	R8年1月26日		~ R8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間で日常的に情報共有を行い、子どもの状況について共通理解を図りながら支援している点が強みである	日々の記録を具体的に残し、職員間でこまめに共有することを心がけている	定期的な事例検討の機会を設け、さらに専門性の向上につなげていきたい
2	外部専門員を活用して職員のスキル向上に取り組んでいる点が強みである	受けた助言や研修の内容を定期的に振り返り、次の支援計画や活動に活かすことを意識している	業務負担を調整し、助言を日々の支援により効果的に反映させることで、職員のスキル向上と支援の質のさらなる充実を図っていきたい
3	個室を活用して子ども一人ひとりの特性に応じた個別対応や気持ちの切り替えを行いやすい環境が整っている点が強みである	子どもが安心して過ごせる環境づくりを意識している	個室での活動計画や支援内容をさらに工夫・記録し、支援の質の向上につなげていきたい

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・業務が偏り、支援の質や余裕の確保に影響が出ている ・職員の負担が増え、安定した支援が難しくなることがある	・個別対応や送迎時間帯に業務が集中しやすい要因として、配置基準は満たしているものの、特定時間帯に職員の業務が偏る ・急な欠勤への対応体制が十分に整っていないことや、業務分担や手順の明確化が不十分であること	・業務の見直しや分担の工夫 ・欠勤時の代替体制の検討 ・個別対応や送迎の効率化
2	避難訓練や事故防止に関するマニュアル整備は定期的に行っているものの、保護者への情報提供や周知が十分でないため、非常時対応について保護者が理解・把握できていない状況	避難訓練やマニュアル整備の実施は職員内で行われているが、情報共有の仕組みや保護者への伝達方法が十分に整備されていないことが要因である また、日常業務が多忙なため、保護者への周知を計画的に行う余裕が十分に確保できていないことも課題	訓練後に保護者向け報告書や連絡帳で内容を共有、年間行事予定やマニュアルの要点を保護者に配布するなど、保護者が事業所の安全対策や非常時対応を理解できる工夫を取り入れることで、安心して利用できる環境を整える
3	保護者会の開催や兄弟同士が交流できる機会を十分に設けられておらず、保護者間やきょうだい児間での情報交換や支援上の相互理解が進みにくい状況	通常業務に追われており、保護者会の開催や兄弟同士の交流機会を計画的に設定する時間を十分に確保できていない	業務分担の見直しや年間行事計画への準備時間の組み込み